

いちおかいちばん

一丘中学校だより

2021.4.30



オンライン学習準備完了



国が昨年度掲げた「GIGA構想」により、泉南市でも一人一台のタブレット配付が終了し、それを使ったオンラインでの双方向のやりとりができる状態が整いつつあります。

本校では昨年度末から授業の中ではタブレットを使ってきましたが、今回家庭訪問が中止になったことで、その時間を利用し、ついにご家庭と学校がオンラインでつながることができるようになりました。万が一感染拡大や災害によって休校になるようなことがあっても、先生と生徒、クラスの仲間がいつでもつながることができるようになったのはとても大きなことです。

オンライン学習の準備もこれで整いました。人類の幸せな未来を作ってもらうことを託して、日本中の小中学生に準備されたものです。これからの学習の必須アイテムとして、ルールとマナーを守って、大切に、そしてどんどん使いこなしていきましょう。

『単元テスト』ってなんだ??

今年度は1学期に中間テストがありません。1学期の定期テストは期末テストのみとなります。そのかわりに、各教科の学習進度にあわせて、それぞれの教科のタイミングで5月を中心に「単元テスト」が実施されます。(2学期は中間テスト・期末テストがあります。)

ずいぶん昔から、全国の中学校・高等学校では、5教科を中心に、学期に2回の定期テスト(ふつう3学期は1回)が当たり前のように行われてきました。そしてそのテストの結果が成績の大部分を占めていました。評価をする側(授業者側)からすると、極端な話、定期テストさえ行っておけば、ふだんどんなにひどい授業を行っていたとしても生徒の成績をつけることができたわけです。

でも、本当は一番大事なのはふだんの授業の質です。生徒にとってわかりやすく、またその先も自分で学んでみたいという気持ちになる授業を先生と生徒で一緒に作っていくことが大切です。そしてそのふだんの授業での生徒のがんばりこそが、成績としてきちんと評価されるべきです。そう考えると、すべての教科を一律に定期テストとして実施することは、先生たちが評価するにはとても便利ではあるけれど、今授業で学んでいることをタイミングよく振り返るといっては生徒にとってはベストではありません。ふだんの授業を大切にしなくても、暗記の得意な人が、いわゆる「一夜漬け」という勉強法で点をとることで成績をつけてもらえることにもつながってきます。

そういう考え方から、授業の質を向上させる取り組みの延長上に、定期テストをなくして単元テストに切り替える学校も全国的に増えてきています。考えてみると、昔から4教科ではそうやって授業の中で評価が行われてきました。体育の授業では種目ごとにそのふりかえりとして種目テストが行われ、その時に欠席してしまった人は、できるだけ早い時期の放課後などに再チャレンジをする機会が設けられたりしました。

今、一丘中学校の先生方は、とにかくふだんの授業の質を向上させようと一生懸命がんばっています。生徒のみなさんと一緒にいい授業をつくっていこうと日々研究をしています。年度当初で各学年・各教科の進度、学習範囲に大きくばらつきのあるこの時期は、一斉のタイミングでの中間テストよりも、教科ごとの『単元テスト』が有効であると考えていますので、1学期に限り、中間テストをなくして『単元テスト』を実施します。毎時間の授業を大切にして、『単元テスト』にチャレンジしてください。